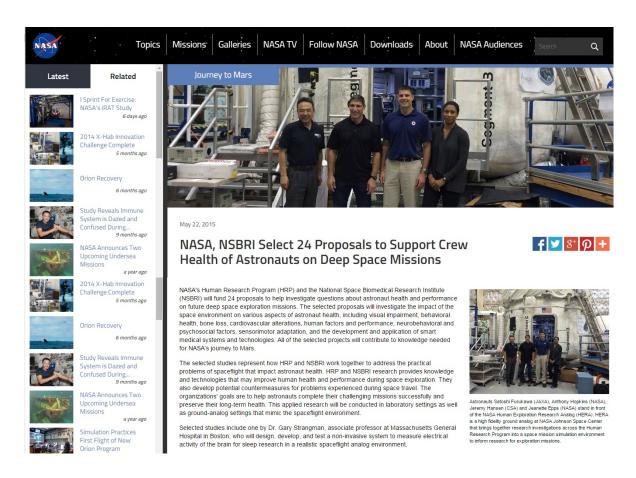


NASA の火星有人探査プロジェクトの研究課題に KAATSU が選ばれました。

NASAと国立宇宙生物医学研究所(NSBRI)は、将来の火星有人探査ミッションにおける宇宙飛行士の健康とパフォーマンスについての課題を調査するために役立つ24の提案に資金を供給し、研究が進められることになりました。 それらは主に、視覚障害、行動の健康、骨量の減少、心臓血管の変化、人的要因やパフォーマンス、神経行動と心理社会的要因、感覚適応、およびの開発と応用を含め、宇宙飛行士の健康のさまざまな側面の宇宙環境の影響を調査します。 その中のいくつかの課題に対して有効であるというとことからKAATSUが研究課題の一つとして選ばれました。



 $\underline{http://www.nasa.gov/feature/nasa-nsbri-select-24-proposals-to-support-crew-health-of-astronauts-on-deep-space-missions}$

Center for KAATSU Research at Harvard Medical School の本プロジェクト担当研究員 Dr. Aaron Baggish のコメント

Aaron Baggish, M.D. will use KAATSU to reduce the headaches that astronauts get from the movement of fluid from the lower body and torso up into the chest and head when astronauts travel from 1G (on Earth) to zero G (in space). We want to add body composition and strength tests to

these protocols before and after the trial in order to document that KAATSU mitigates space muscle atrophy.

アーロン・バギッシュ医師は、1G(重力)の地上から0G(宇宙)へ宇宙飛行士が行った際に、下半身や胴体から胸部や頭部へ体液が移動することから生じる頭痛の減少に対して KAATSU が有効であるという点について、今後、本プロジェクトで本格的な研究に入っていく予定です。